

令和6年度 第3回 土岐市総合計画審議会 議事録

1. 開催日時・場所

令和7年2月20日（木）午後2時から4時10分
土岐市役所2階 大会議室2A

2. 次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事
 - (1)第七次総合計画基本構想素案について
 - (2)第七次総合計画実施計画骨子について
4. その他
5. 閉会

3. 資料

- 【資料1】基本構想素案について
- 【資料2】まちの将来像について
- 【資料3】基本目標について
- 【資料4】第七次総合計画 実施計画策定にあたって

4. 出席者

（審議会委員）

菊地 裕幸	宮地 喜博	山口 文子	加納 弘夫	石黒 信彦
小川 大輔	加藤 大祐	宍戸 乃梨子	戸松 陽子	鈴木 美好
鈴木 健之	広瀬 雅史	加藤 幸代	高橋 範光	小森 直人

（敬称略）

（傍聴者）5名

5. 議事要旨

I. 委員意見等

(1) 第七次総合計画基本構想について

① 序論について

- ・記載事項及びグラフを再検討する。
- ・現状から課題、基本目標のつながりがわかるように検討する。
- ・アンケートなど初めてみた人でもわかるように記載する。

② 基本指標について

- ・市政満足度指標をいれたほうが良い。
- ・他都市との比較があるとわかりやすい。
- ・人口を増やすために何をするかを記載した方が良い。
- ・人口推移のグラフを修正し、見やすい図とする。

③ 基本構想の実現に向けて

- ・PDCA サイクルを十分管理することが重要である。

④ まちの将来像について

- ・意見等を検討し、会長と事務局とで相談の上、次回の審議会までに案を1つにまとめて提案する。

⑤ 基本目標について

- ・基本目標の言葉と説明で齟齬がある部分を修正する。

(2) 第七次総合計画実施計画について

- ・第七次総合計画実施計画の構成について、原案のとおり了承を得た。

II. 指摘事項・課題

(1) 第七次総合計画基本構想について

① 序論について

- ・土岐市は恵まれた環境が多数あり記載すると良い。
- ・文章に記載があり図表がないものがある。スペースの許す限り載せた方が分かりやすい。
⇒文章中の記載とグラフを合わせることを検討する。
- ・土岐市の現状から課題、解決していくための施策への繋がりが見えてこない。
⇒土岐市の政策の方向性など組み立てて、説明できるように修正する。
- ・市民意識調査など、初めて見る市民でも分かる表現にすると良い。
- ・県内一の観光入込客数の施設を、土岐市の特徴の1つとして入れると良い。
- ・アウトレットやイオンに行く方も観光客に含むかなど、市民の方々に誤解を招かないように、正確な表現にすべき。
- ・現況の変化が市の取り組みによるものであるなら、その記載があると分かりやすい。
- ・防災について真剣に考えるとき。防災に対する考えを深く浸透させるための施策を検討いただきたい。
- ・アンケートで年齢別の回答率があれば分かりやすい。
- ・市民意向について、文章からは何を言いたいのか読み取れない。
- ・ウェルビーイング指標の表の見方を改めて教えてほしい。
⇒標準を50とし、標準を上回れば50より大きく、下回れば50より小さくなる。

② 指標について

- ・人口目標や市民幸福度指標など、どういうところから導き出されたのか。
⇒ウェルビーイングを総合計画の1つのテーマとしている。市民が主観的に幸せを感じ、未来に向かって、次の世代の市民の方も、土岐市に誇りを持って住み続けていた

だくことを目的として指標を設定した。また、人口減少対策を重点的に行う中で、人口を客観的指標として設定した。

- ・将来的に出生率を回復させるのではなく、今、人口を増やすためにどうしたらいいかを文章の中に入れるべき。
⇒少子化対策や、子育て世帯の支援策の記載に追加する形で検討する。
- ・人口が急減するよう見える。人口減少を抑えるという強い意志があるのであれば、角度を変えた表の作り方、グラフの作り方をしても良い。
- ・独身者、移住者、定住についての人口を増やすための言葉を入れていただきたい。
- ・市民幸福度を6.7点から7点、定住指標を51.5%から65%にしようとしている根拠は何か。
⇒市民幸福度の全国平均は6.5点、岐阜県平均も6.5点、土岐市は6.7点。県内1位を目指す意味で7点としている。定住指標は、過去10年間、継続して調査を実施したところ60%を超える年もあったため、目標として65%と設定した。
- ・市政満足度指標を外した理由はなにか。土岐市の満足度を図る意味で、継続的に推移を見るため今回も入れたほうが良い。
⇒全体での取組の満足度は、回答者によるばらつきもあり評価の仕方が難しい。個別施策の重要度、満足度については表しており、第七次総合計画の実施計画で指標の管理をしていきたい。
- ・市民幸福度指標、定住指標は、10、20歳など年代別の指標と、土岐市と人口が同規模で人口増加している都市を比較対象として載せると分かりやすい。

③ 基本構想の実現に向けて

- ・PDCAでプランの部分が良いが、問題は誰が責任を持って実行するか、達成されたかの確認をするかというところ。結果の責任を誰がとるのかを考えていただきたい。

④ まちの将来像について

- ・「好きです土岐市 子ども女性も輝いて希望をつなぐ 陶のまち」俳句の様にすると口に出して言いやすく、伝わりやすい。
- ・仮案3「ひとまちも進化し続ける 土岐市」ではなく、「まちもひと進化し続ける 土岐市」。仮案4「変わろう素敵な未来のために 土岐市」ではなく、「素敵な未来のために変わろう 土岐市」とすると市の姿勢を前に出せる。どちらか一つであれば「素敵な未来のために変わろう 土岐市」が良い。
- ・仮案1を修正し「美濃焼と文化を育み、未来を切り開くまち」はどうか。計画期間中に、新しい博物館もでき、土岐市の文化を発信していく拠点にもなる。
- ・仮案1の「伝統を守り」を修正し、「伝統をつなぎ未来を守るとき」が良い。
- ・仮案2「伝統と自然の調和、新たな未来を紡ぐまち」を修正し、「伝統と自然と人の調和」と「人」を入れたら良い。
- ・仮案4を少し変え「素敵な未来のために変わるとき 土岐市」が良い。
- ・10年先に実現するために「必ず実現しよう」などの副題があると良い。
- ・陶器や伝統など総花的にするか、何かに集中するのか重要な論点。いくつか案を出した中で、そういう論点で決めていただくと良い。
- ・将来像のフレーズに入れられるキーワードは2、3程度。2、3入れる方向で進める。
⇒意見等を検討し、会長と事務局とで相談の上、次回の審議会までに案を1つにまとめて提案する。

⑤ 基本目標について

- ・基本目標1、「誰もが健やか」とあるが説明文は「多くの市民」。「安心して暮らせる」は「幸せに暮らせる」と言い換えられている。中身の文章と表題が合致していない。

- ・基本目標 3、「幸せ」は、土岐市が力を入れている言葉だと思うが、ここで使用してもいいのか。交流、スポーツでのみ幸せを感じてもらえれば良い訳ではない。ここで「幸せ」を使用しても良いか疑問に思う。
- ・基本目標 5、土岐市で大きな災害が今後あることが考えられる。防災についての言葉があると安心感がでる。
- ・基本目標 5、市民との協働は重要。市民はサービスの受け手ではなくて、地域づくりの主体であるという意味でも積極的、主体的に行動を起こしていくことが大事。協働という言葉もキーワードとしてぜひ入れていただきたい。
- ・基本目標 6、持続可能性というキーワードも入れた方が良い。
- ・基本目標 6、「未来へつながる都市経営を行うまち」と、透明性が高く、健全な行政運営を目指すことが繋がらない。施策として DX や AI の活用を入れるべき。
⇒改めて検討させていただきたい。
- ・基本目標の分野が集約されており分かりづらい。美濃加茂市のように分割してまとめないと分かりづらい。
⇒基本目標を 6 つにした理由の 1 つは、市の組織体制として部があり、部が所管する事業を集約しているため。

⑥ 実現に向けて

- ・PDCA サイクルが一番大事。誰が実行するかが重要。実行するためにどういう形が良いか、誰が実行するのか、結果の責任を誰がとるのかを含めての議論が大事。

(2) 第七次総合計画実施計画について

- ・移住定住と企業誘致は注目している施策なので、何らかの形でアピールした方が良い。
⇒企業誘致は、商工業企業であれば商工業の分野になる。人口減少対策や、移住定住などは 1 つの部署でおさまらないため、該当する事業を複合的に実施計画の重点事業、総合戦略としてまとめる。
- ・重点施策は、実施計画、総合戦略のどちらにも重複して記載されるということで良いか。
⇒重点事業については、実施計画のページでは星マークをつけ、総合戦略のページで一覧表を作り整理する。

(3) その他

- ・資料は 1 週間から 10 日前に届かないと、議論ができない。
- ・内部で議論して、資料を出さないと質問に答えられない。質問に答えられるように内部で検討してもらうという必要がある。
- ・責任の所在を明確にするため、行政もスペシャリストを養成してはどうか。

Ⅲ. 次回に向けて（協議事項）

- ・基本構想（答申案）の検討
- ・基本構想の答申

5. 記録

1 開会

事務局	本審議会について、委員 15 名全員の出席があり、土岐市総合計画審議会規則第 4 条第 3 項により、本審議会は成立。 新任委員の紹介（加藤大祐委員）
-----	--

2 会長あいさつ

会長	第 1 回目、第 2 回目の審議会で、委員の土岐市に対する熱い思い、そして真摯な意見を目の当たりにして大変感銘を受けた。 私自身、土岐市について知らないことがあり、委員からの意見により、土岐市を徐々に知り、勉強させていただいている。 本日は基本目標、将来像を中心に議論いただく。委員から率直な意見をいただきたい。
----	--

3 議事

(1)第七次総合計画基本構想素案について

①「基本構想素案について」

事務局	資料 1 説明。
会長	資料 1 前半は前回、社会潮流、土岐市の現況、まちづくりの課題等で議論をいただいたところ。後半は新しい内容があった。委員から意見をいただきたい。
委員	審議会の 2、3 日前に資料が届くが、委員も忙しいので 1 週間から 10 日前に資料をいただきたい。 8 ページの土岐市の現況について、土岐市は非常に恵まれた立地条件を備えている。高速道路は 2 つあり、インターチェンジは 3 つあり、国道は 3 つある。他に防災に強い等もあるが、資料に記載されていない。土岐市の恵まれた環境も載せていただきたい。 まちづくりの方向性で、人口目標や市民幸福度指標など、指標を設定された根拠を伺いたい。
事務局	今回、総合計画の指標を 3 つ設定した。第六次総合計画では、人口と住みよさ指標、定住指標、市民満足度指標の 4 つであった。 第七次総合計画で、こういった指標により進行管理するかについて、例えば出生率や転入転出などの客観指標や、LWC 調査の幸福度や生活満足度などの主観指標を検討する中で、ウェルビーイングを総合計画の中で 1 つのテーマにしており、市民が主観的に幸せを感じているか、また、人口減少対策を重点的に行う中で、人口を客観指標としているが、加えて、土岐市として誇りを持ち、暮らしやすいまちとして、土岐市に住み続けて欲しい、未来に向かって、次の世代の市民の方も、土岐市に誇りを持って住み続けていただくことを目的とし、3 つの指標を設定したいと考えている。
委員	まちづくりの方向性について。 まちの将来像を説明した後に指標を説明した方が分かりやすい。 市の考えとして、人口をなんとかとどめよう、令和 27 年で 4 万人を維持しよう、そのために、住民の方々に幸福感を持ってもらうようなまち、住み続けたいと思いを持つようなまちにしていこうと考えているということ。 市民幸福度を 6.7 点から 7 点、定住指標を 51.5%から 65%にしようとしている根拠は何か。
事務局	(2) の市民幸福度指標と、(3) の定住指標の目標数値の根拠について、ウェルビーイング指標は、全国で統一された調査をもとに実施しており、比較ができる。市民幸福度の全国平均は 6.5 点、岐阜県平均も 6.5 点となっており、土岐市は 6.7 点で、平均値を 0.2 ポイント上回っている。目標の 7 点の根拠は、県内で最も高い岐阜市の 6.9 点を超えることを目標としたもの。

	定住指標は、第六次総合計画の目標として60%を設定していた。第六次総合計画の計画期間中に60%を超える年もあったため、今回の指標を65%と設定した。
委員	市民幸福度などの指標は岐阜県1位を目指すということだが、土岐市と同規模の人口で、最近人口が増加している都市があれば比較対象として載せて欲しい。
委員	21ページの総人口の文章に、独身者、移住者、定住についての人口を増やすための表現を入れていただきたい。土岐市が抱える課題は、人口減少をいかに抑えるか、人口を増やすかであることを考えると、将来的に出生率を回復させ、子どもができて徐々に増えていくと記載されているが、今の土岐市はそのような甘えたことをいっている場合ではなく、人口を増やすために移住者を取り入れる他、例えばベッドタウン化して名古屋、中京圏で働く人に土岐市に住んでもらうなどを、文章の中に入れるべきである。
事務局	総人口の客観指標の記述箇所の少子化対策や子育て世帯の支援策に追加する形で検討する。
委員	18ページのまちづくりの課題で、(4)人を惹きつけるまち、のアウトレットやショッピングモールなど魅力ある施設の箇所で、土岐プレミアムアウトレットは県内の観光入込客数であることは土岐市の特徴の1つであり入れると良い。
委員	8ページからの現況に、グラフ、表が追記されたが、文章に記載するのであればデータは全て載せた方が良い。 8ページ(1)「市内の就業者人口をみると、2次、3次産業の就業者数が減少しています」はその通りだが、全体としては8.5%減っており、それに対して、2次、3次は7.4%、7.5%と全体より少なく、減少した大きな要因は分類不能が減ったことが一番の要因である。 9ページ(3)で、耐震化率の文章が急に出てきて、なぜ出てきたのか分からない。今後の政策で、土岐市として力を入れていくものなのか。様々なデータがあるが、使っている根拠が見えてこない。 11ページの地域コミュニティの活性化について、衰退のあとに安全だと書いている。コミュニティは衰退しているが、安全は確保されていると言いたいのか、どういう意図で書いているのか分からない。 12ページからの市民意向について、市民意識調査の結果が記載されているが、どのように総合計画に反映されるのか、分からない。13ページの「今後もずっと土岐市で暮らしたい意向がある割合は、51.6%、その一方、市外で暮らしたい割合は、5.3%となっています。」は、どう分析しているのか。社会潮流があり、それに対して土岐市の現状はどうで、課題があり、解決していくために施策を立案するという流れが、全体を通して見たときに繋がっていない。 14ページのウェルビーイング指標のグラフはどう読み取れば良いか。 21ページの人口推移のグラフは、人口減少の角度が急すぎて、支えよう、持ちこたえさせようとしている意図が伝わりにくい。角度を変えた表やグラフとしても良い。
事務局	8ページ以降の土岐市の現況について、文章とグラフが合うように修正するよう検討する。また、全体の流れの中で土岐市の政策の方向性などストーリーを組み立てて、説明できる構成を検討する。 12ページの市民意向について、重要度、満足度のグラフをベースに、今後土岐市が取り組む方向についての分析が出来るように検討する。 13ページの市内での居住意向で、「何ともいえない(わからない)」が半数近くあるが、これを土岐市で暮らしたいと答えていただけよう総合計画を進める。 14ページのウェルビーイング指標は、アンケートによる主観データと、統計などの客観データがある。主観データは、アンケート結果の標準を50としたときに、その分野の満足度が高ければ、レーダーチャートが大きくなり、満足度が小さいものは小さくなる。客観データは、そのカテゴリーの状況を統計データなどで客観的に評価した土岐市の状況が、標準より充実していれば50より大きく、下回れば50より小さくなる。例えば、グラフの右側の初等・中等教育で、客観データは全国の標準程度だが、主観データでは、市民は満足していないとなっている。この現状に対

	<p>して、継続的に調査を行い、満足度が高くなる施策を実施し、施策に対する効果をアンケートで確認する。</p> <p>人口推移のグラフは修正を検討する。</p>
会長	<p>市民意識調査など、初めて見る人には分からないところがある。市民に分かる表現が重要であり、改善をお願いする。</p>
委員	<p>行政内部で十分議論することが必要。</p>
委員	<p>11 ページ (6) 地域コミュニティの活性化による住みよいまちで、刑法発生件数、交通事故の発生件数の減少が市の取り組みによるものであれば具体的に記載いただきたい。</p> <p>アンケートで10代、20代と、70代、80代、90代で市政の感じ方が異なる。今後住みよいまちを考えていくにあたり、10代、20代の回答内容は重要になる。年齢別の回答率があっても良いのでは。</p>
委員	<p>18 ページ (4) 人を惹きつけるまちで、調査の仕方によって、アウトレットやイオンの訪問客も観光客と捉えられる。岐阜県で一番観光客が多いのは土岐市との統計データもある。誤解を招かないよう記載を修正しては。</p>
委員	<p>年齢別のアンケート結果を記載することに賛同する。特にこれから人口の増減に大きく左右するのは、18歳、22歳、30歳前後の年齢の方である。今の中学生、高校生が職業を選択する年齢になり、土岐市に住み続けたいなど出てくる。移住よりも人数が多いのでアンケート調査をしていただきたい。</p> <p>同規模の市との比較で、東海地区で一番住みたいまちは長久手市で、人口は6万人、イオン、映画館があり、名古屋に近い。土岐市は減っているが、長久手市は人口が増えており、聞いた話では、子育て支援に力を入れているとのことである。</p>
会長	<p>指摘事項については改善していただきたい。</p>
委員	<p>防災について。安心安全なまちに住みたいという意見は多い。医療は当然、防災についても真剣に考えるときである。土岐市は安全だという根拠はないが、市民は安全と思って住んでいる。そのため、防災に対する意識が高まらない。市内で200名以上の方が防災士資格を取り、一生懸命防災に取り組んでいるが、若い人が育っていない。防災士の認知向上のほか、防災に対する考えを深く浸透させるための施策を実施していただきたい。</p>
会長	<p>多くの意見をいただいた。時間的な制約もあるが、可能な限り委員の意見を反映していただきたい。基本構想は、市民目線で作られているかが一番大事である。市民が初めて読んでも理解できる内容にしていきたい。</p> <p>まちづくりの方向性の基本指標で、人口、市民幸福度指標と定住指標の3つを出されているが、前回の指標はそれに加えて市政満足度指標があった。満足度を第七次総合計画の計画期間で引き上げていくことが重要と考えるが、満足度指標を外した理由はあるか。</p>
事務局	<p>市政全体の取組の満足度は、1つの施策でも不満があると不満になりやすく評価が難しい。第七次総合計画では実施計画でも指標の管理をしていきたいと考えており、進捗管理の簡素化の観点から指標の数を減らした。</p>
会長	<p>主観指標のため回答者によるばらつきはあるが、土岐市全体の満足度を図る意味で、個別だけでは不十分である。第六次総合計画でも指標となっており、継続的に推移を見るため今回も入れたほうが良い。</p>

②「まちの将来像について」

事務局	<p>資料2説明。</p>
会長	<p>まちの将来像について意見をいただきたい。本日ある程度決めたい。</p> <p>まずは前回審議会の委員のキーワード等をもとに事務局で作成した4案に対する意見とともに、修正案や新たなキーワード等を出していただきたい。</p>
委員	<p>将来像の案として次のフレーズを提案する。「好きです土岐市 子ども女性も輝いて希望をつなぐ 陶のまち」俳句の様に言いやすく、伝わりやすい表現を考えた。</p>

委員	「ひともまちも進化し続ける 土岐市」を「まちもひとも進化し続ける 土岐市」、「変わろう素敵な未来のために 土岐市」を「素敵な未来のために変わろう土岐市」というように、市の姿勢を前に出してはどうか。
会長	1つにするならどちらか。
委員	「素敵な未来のために変わろう 土岐市」が良い。
委員	4つの案の中では、仮案1が良い。第五次総合計画、第六次総合計画を見ると、第五次総合計画では美濃焼、第六次総合計画では土というキーワードが入っている。また、先ほど委員が、陶のまちで陶という言葉を提案した。将来像に土岐市らしさを入れた方が良い。例えば、伝統を守るとあるが、「美濃焼と文化を育み、未来を切り拓くまち」はどうか。文化を入れたのは、計画期間中に、新しい博物館が完成し、土岐市の文化を発信していく拠点にもなるからである。
委員	仮案1の「伝統を守り」ではなく、「伝統をつなぎ未来を守る」にした方が良い。土岐市の70周年のキャッチフレーズである「ときめくときをきみときざもう」のように「とき」が入っているのが良い。「とき」も入れて「伝統をつなぎ未来を守るとき」としてはどうか。
委員	仮案2の「伝統と自然の調和、新たな未来を紡ぐまち」、に「人」を入れてはどうか。伝統は美濃焼だけではないのでこのままで良い。人口を維持して若い世代を増やしていく思いを込めて「人」を入れたい。「伝統と自然と人の調和、新たな未来を紡ぐまち」が良い。
委員	仮案4の「素敵な未来のために変わるとき 土岐市」に、委員から言われた「とき」を入れて、「素敵な未来のために変わるとき 土岐市」はどうか。
委員	総合計画は実現させることに意味がある。「必ず実現しよう、第七次総合計画」のような副題があると良い。
委員	4ページの県内他都市の将来像で、山田市は、「子育て応援のまち 山田市」というように子育てに集中して書かれている。将来像に陶器も伝統も全部書くのか、何かに集中するのか重要な論点だと思う。いくつか案を出した中で、そういう論点で決めていただきたい。前回の審議会の資料では、子育ての問題と移住の2つを集中的に書かれているが、今出ている案ではその辺が読み取れない。課題に直結する表現を明確に書いても良い。
会長	これまで出された意見として、 「好きです土岐市 子ども女性も輝いて希望をつなぐ 陶のまち」 「素敵な未来のために変わろう 土岐市」 「美濃焼と文化を育み、未来を切り開くまち」 「伝統をつなぎ未来を守るとき」 「伝統と自然と人の調和、新たな未来を紡ぐまち」 「素敵な未来のために変わるとき 土岐市」 副題として、「必ず実現しよう、第七次総合計画」という意見もあった。 いろいろなものを網羅するのか、1点集中型でいくのかという意見もあった。 土岐市の将来像は、第七次総合計画の根幹となる部分であり、これからの土岐市をどうするか、どうなったら良いか、分かりやすく書かれている将来像が良い。 希望、変わろう、進化など未来志向的なものや、伝統や美濃焼、文化、陶のまちなど土岐の地域資源や自然などの特徴を活かしたキーワードが大きく出ている。 本日この場で1つにまとめることは難しいため、いただいた意見を基に私と事務局で相談検討した上で、次回の審議会のときに、提案という形にしたいが、事務局はそれで良いか。
事務局	冒頭説明したとおり、前回の会議で意見いただいた、今までの総合計画のフレーズを継承するのか、大胆な変化を求める内容にするのかという議論について、どちらにするのかを決めていただきたい。 また、先ほど委員から意見があった、1点集中にするのか、広がりのあるフレーズにするのかも決めていただければ、委員からいただいた意見を参考に、次回提案できると考えるが、いかがか。
会長	それでは、論点をできるだけ網羅するのか、かなり絞って大胆にするのかという意見について、例えば山田市は「子育て」1点集中型にしているが、何にするかは

	別として、キーワードを2、3つ組み合わせたものが委員も許容できる範囲だと思うが、いかがか。
委員	これから先、限られた資源をどこに注入するのかを絞った方が良いという考え方もある。
会長	委員から多くの意見、キーワードを出していただいた。すべて盛り込むことは不可能であり、2、3つにする方向で進めたいがどうか。
会場	異議なし。
会長	従来型で将来像を作るか、大胆な変化を目指すのかという意見について、委員の案、意見では、土岐市の魅力や特徴、地域資源も踏まえつつ、将来に向かって、ポジティブな土岐市を作っていこうという案が多かったため、どちらと決めず、両方含める案が良いと考えるがどうか。
委員	単語を並べると、従来ある土岐市の特徴を踏まえており、斬新な新しい将来像にしなくても良い。
会長	既存の土岐市の魅力や特徴を踏まえつつ、前向きな将来像とすることで事務局は問題ないか。
事務局	承知した。
会長	本日いただいた提案、意見等を検討し、私と事務局で相談の上、次回の審議会に案を1つにまとめて、提案する。

③「基本目標について」

事務局	資料3説明。
会長	資料3の基本目標案について、意見を伺いたい。
委員	<p>柱建としては網羅されている。</p> <p>ただ、中身の説明と表題が合致していない箇所がある。基本目標1は「誰もが健やか」で、説明文は「多くの市民」となっている。「安心して暮らせるまち」は「幸せに暮らせるまち」と言い換えてある。</p> <p>また、基本目標6について、「未来へつながる都市経営を行う」という基本目標に対し、「透明性が高く、健全な行政運営を目指す」という説明は理解しにくい。今後施策を掲げる時に、DXやAIの活用を入れるべき。人が割けない中で、効率的行政にしていかなければならない、市民へ情報提供しながら、透明性のある行政運営を目指すことは分かるが、説明文と整合性をとっていただきたい。</p> <p>基本目標3の「幸せ」は、様々な意味で土岐市が力を入れている言葉であり、ここで使用して良いのか。教育交流、スポーツの分野でのみ幸せを感じてもらえれば良いと捉えられる恐れがあり幸せは基本目標で使用すべきではない。</p>
事務局	いただいた意見について、改めて検討する。
委員	基本目標5について、環境と安全の分野で、大きな災害が今後あると考えられるため、防災に関する言葉があると安心感がある。
会長	<p>基本目標6、未来へつながる都市経営を行うまちの分野は行財政運営、情報発信となっている。行財政運営は、持続可能性というキーワードも入れていただきたい。</p> <p>第六次総合計画では、基本目標5が「協働の仕組みづくり」となっている。市民は、サービスの受け手ではなくて、地域づくりの主体であるという意味でも積極的、主体的に行動を起こしていくことが重要である、協働という言葉もキーワードとして是非入れていただきたい。</p>
委員	基本目標の分野が集約されており分かりづらい。美濃加茂市のように分割し、個別の方針をまとめないと分かりづらい。子育て支援や移住のことが、あやふやになっている。出すべきメッセージを目標に入れると良い。
事務局	<p>今回、基本目標を6つとした理由の1つは、市の組織体制に部局があり、例えば基本目標1は健康福祉部が実施する内容として所管している事業を集約しているというまとめになっている。この計画を作成したときに、市民がこの施策はどこの部局かが分かりやすくしたいという目的でまとめた。</p> <p>分野は集約化されているが、施策を掲げると全体として見やすくなる。</p>

会長	子育て支援などの重点施策は総合戦略の記載にもあるという理解でよろしいか。
事務局	人口減少対策や防災などの重点事業を総合戦略事業としているが、基本構想の中ではなく、実施計画で位置付けることを考えている。

(2)第七次総合計画実施計画骨子について

事務局	資料4説明。
会長	第七次総合計画実施計画の策定にあたり骨子について意見、質問等伺いたい。
委員	移住、定住と企業誘致はどこに入るのか。
事務局	企業誘致は、商工業関連企業であれば商工業になる。移住、定住は地域づくりになる。提示は案であり、意見によって体系を変更する。
委員	量的問題もあるが、委員の意見もあり、注目している施策である。何らかの形でアピールした方が良い。
会長	資料4の1ページ目の第7次実施計画構成案で、施策の大綱、実施計画事業と、基本目標1から記載があり、そのあとの総合戦略で重点施策が記載されている。今、委員から指摘があった移住や企業誘致、子育て支援などは重点施策にも入るが、重複して記載されるということで良いか。
事務局	<p>実施計画構成案中、Ⅲの実施計画事業について、実施計画事業は、基本目標に紐付いた上で網羅的に記載される。その実施計画事業の中で、総合戦略に当たる事業があり、分類して抽出したものを一覧で整理する。</p> <p>3. 実施計画イメージの右側に第七次総合計画における実施計画の案があるが、実施計画の一覧で総合戦略に位置づける事業に星マークをつける。また、別の項で一覧表を作り、整理する。</p> <p>部局の取り組みを基本目標として置いている。</p> <p>人口減少対策や、移住定住は、1つの部局に収まらないため、該当する事業を複合的に、実施計画の重点事業、総合戦略としてまとめることを検討している。</p>

4 その他

会長	次第の4、その他で意見、質問等はあるか。
委員	<p>資料にもあったが、PDCAサイクルが一番大事で、計画を作るところまでは良いが、誰が実行するかが一番重要。私も含め、10年後は別の委員になっている。役所、市長も、10年先は変わり、動いていく。責任がどこにあるかということ、誰が実行していくかを決めないと、第五次総合計画、第六次総合計画と同じことになる。</p> <p>役所は3年に1回程度異動で部署が変わるので、引き継ぎで、目標からずれていく。結果的に責任もなく終わり、第八次総合計画で同じことの繰り返しになる恐れがある。ある自治体の話だが、20年ほど同じ人が経済部を担当し、部長も7、8年やることでスペシャリティの方でまちづくりがうまくいっているケースもある。行政は難しいところだが、今までの流れではなく、実行するためにどういう形が一番良いか、誰が実行するか、結果を誰が責任をとるかの議論が一番大事だと考える。</p>
会長	<p>以上で予定した次第はすべて終了した。</p> <p>委員から非常に貴重な、そして熱心な意見議論をいただき、有意義な時間だった。改めてお礼申し上げる。</p>

5 閉会

事務局	<p>貴重な意見と審議をいただいた。以上で令和6年度第3回土岐市総合計画審議会を終了する。</p> <p>次回の審議会は、令和7年3月27日木曜日、午後2時からを予定している。場所は市役所3階大会議室の3ABである。改めて案内する。</p>
-----	--

以上